

UNITE FOR GOOD

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

自信



のふじ

2026

1

Rotary
第2820地区



2025-2026 年度

ガバナー 瀬戸隆海

UNITE FOR GOOD

よいことのために手を取りあおう

目 次

1 月は 職業奉仕月間です

ガバナー メッセージ	3	ガバナー時代回顧録	11
1 月特別月間「職業奉仕月間によせて」	4	水戸東RC創立40周年記念式典報告	13
12 月特別月間 「疾病予防と治療月間によせて」	5	会員増強報告	14
我がクラブ紹介 ～第 6 分区編～ 土浦 RC 土浦南 RC つくば学園 RC 石岡 87RC 土浦中央 RC つくばシティ RC	6	新入会員紹介・スケジュール・編集後記	15
公式訪問紹介	9	地区大会写報告	16
		月信委員会より重要なお知らせ	16

※今月は「職業奉仕月間」ですが、編集締切の都合上、1 2 月「疾病予防と治療月間」を掲載致します

題字・表紙写真

1 月 みやび絵歳時記

のぞみび 駆けゆく背中に 春のひかり

作者 澤田 憲一

今年は丙午の歳
勢いとエネルギーのある春の光をあびて
益々の躍動の年にしたいです



ガバナーメッセージ

国際ロータリー第 2820 地区
2025-2026 年度ガバナー

瀬戸 隆海（水海道RC）

新年あけましておめでとうございます。

本年の干支は丙午（ひのえうま）にあたり、「丙」は十干の三番目で「火」の要素を持ち、太陽の明るさや生命力を象徴するとされています。また「午」は、古来より人とともに歩んできた力強い存在で、駿足と独立心に富み、時に人を助ける象徴でもあります。

そのため、丙午の年は「勢いとエネルギーに満ち、活動的になる年」といわれており、新年を迎えるにあたり、経済的・活動的に大躍進の一年となることを願っております。

さて、昨年 10 月には、ポリオ根絶イベントに 800 名を超える多くの皆さまにご参加いただきました。さらにその 2 週間後には地区大会も続き、大きな行事が重なる中で各クラブの皆さまにはご負担も多かったかと思いますが、それでも多数のご参加をいただき、大変うれしく思っております。

特に、地区大会と併催した「茨城平和会議」では、ウクライナのロータリアンをお招きし、インターアクト、ローターアクト、米山奨学生が一堂に会して意見交換を行いました。世界で起きている出来事は決して遠い話ではなく、いつか自分たちの身に降りかかるかもしれない——そのことを若い世代にも感じていただけた、有意義な取り組みであったと実感しております。

また地区大会においては、国際ロータリー第 5420 地区からディーン・ジャクソン夫妻を RI 会長代理としてお迎えし、盛会裡に開催することができました。昨年の規程審議会では「地区大会は必ずしも開催しなくてもよい」との決議がなされ、RI 会長代理をお招きする形式の地区大会は今回が最後となると思います。

このように、地区大会の意義が変わる中、改めてその目的や意義を見つめ直し、今後の大会の在り方を皆さまとともに考えていく必要があります。より意義深い大会となるよう、皆さまのご理解とご協力をお願いしたいと思います。

そしてロータリーそのものも、いままさに変革の時を迎えています。

ロータリーが変わらなければ、新しい風は生まれません。

本年が、その新しい風を起こす一年となるよう、共に歩んでまいりましょう。



1 月特別月間「職業奉仕月間によせて」

国際ロータリー第 2820 地区
職業奉仕委員会 総括委員長

安 圭一(水戸RC)

例年 1 月は「職業奉仕月間」です。ロータリーの基本である「職業奉仕」について改めて学びましょう、という月間です。

そこで、まずはロータリーの基本理念から確認したいと思います。

ロータリーの目的は、「意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むこと。」にあります。具体的には、次の各項を奨励しています。

- 第 1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること。
- 第 2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。
- 第 3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること。
- 第 4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

職業奉仕は、上記「目的」の第 2 項を土台とし、「高い倫理観を持って職務を遂行し、職業を通じて社会に貢献するという考え方を実践すること。」と定義することができます。

職業奉仕を実践するための指針として、「ロータリアンの行動規範」が定められていることは、ご承知だとおもいます。ただ、少し高尚で理念的な印象をうけるためか、日常的には馴染みがないかもしれません。

それよりも、もっと身近に職業奉仕の実践の指針となるものがあります。それが、「四つのテスト」です。

「言行はこれにてらしてから

- 1 真実かどうか
- 2 みんなに公平か
- 3 好意と友情を深めるか
- 4 みんなのためになるかどうか。

ロータリーソングとしてもお馴染みのこの「四つのテスト」は、ロータリアンが職業奉仕を実践する指針となるものですが、今日ではそれ以上の意味合いを持っています。

本年度スタート直後の 2025 年 7 月 19 日に行われた奉仕プロジェクト研究会において、新井和雄パストガバナーを講師にお迎えして、「奉仕プロジェクトと職業奉仕」という題でご講演いただきました。ロータリーの奉仕の理念を確定した唯一の公式ドキュメントとして有名な「決議 23-34」の成り立ちから、現在に至る変遷を踏まえつつ、職業奉仕と他の奉仕活動がどのように関連しているかについて、客観的資料に基づいた貴重な講演をいただき、大変有意義な研究会となりました。

職業奉仕はロータリーの核心であり、世界中の地域社会で奉仕を行う土台となるものです。



12月特別月間「疾病予防と治療月間によせて」

国際ロータリー 2820 地区
国際奉仕委員会 総括委員長

村上 義孝(つくば学園RC)

「この指とまれ」賛助金額が確定しました

12月はロータリークラブの「疾病予防と治療月間」です。皆さんご存知の通り、国際ロータリーには重点分野があり、①平和構築と紛争予防、②疾病予防と治療、③水と衛生、④母子の健康、⑤基本的教育と識字率向上、⑥地域社会の経済発展、⑦環境と、7分野となっています。ロータリー財団のグローバル補助金などは、この7つの重点分野のいずれかに関わるのが必須条件となっています。当地区独自のWCS事業である「この指とまれ」事業についても、2025-26瀬戸年度より、この7つの重点分野のいずれかに関わることを応募条件と定めました。

このほど、地区内からエントリーされた全7事業（11クラブ／対象国6ヶ国）に対しての各クラブからの協賛金のエントリーが締め切られ、それぞれの合計金額が確定しました。結果は以下の通りです。（受付順／提唱クラブ名、事業名、対象国）

- ①日立・下館RC「ネパールの貧しい子ども達への就学支援」（ネパール）
賛助クラブ数：25クラブ／実績金額：470,000円
- ②つくば学園RC「インドネシアの学生向け学用品支援プロジェクト」（インドネシア）
賛助クラブ数：19クラブ／実績金額：340,000円
- ③しもだて紫水RC「フィリピンの貧しい子ども達に文具品や生活必需品の配布を行う支援」（フィリピン）
賛助クラブ数：17クラブ／実績金額：180,000円※提唱クラブは含まず
- ④古河・古河中央・古河東RC「タイへの希望の架け橋プロジェクト」（タイ）
賛助クラブ数：13クラブ／実績金額：170,000円※提唱クラブは含まず
- ⑤水戸南RC「中古車いす贈呈事業」（タイ）
賛助クラブ数：15クラブ／実績金額：180,000円※提唱クラブは含まず
- ⑥つくばサンライズ・土浦RC「3Dプリンターを活用した視覚障害教育支援事業」（マレーシア）
賛助クラブ数：21クラブ／実績金額：420,000円
- ⑦境RC「モンゴルの子供たちへ学用品支援」（モンゴル）
賛助クラブ数：13クラブ／実績金額：590,000円

合計で2,350,000円となりました。ご協力いただいたクラブの皆様には感謝御礼を申し上げます。今後は、各提唱クラブへの協賛金の交付を行なっていきます。今年度からは、提唱クラブからの事業報告に加え、決算報告の地区への提出も協賛金交付の条件となります。各クラブでの充実したグローバル事業が、適正に実施される事を期待しております。

【参考】

2022-23年度 4事業（日立・下館共同、しもだて紫水、結城、地区国際奉仕）

2023-24年度 7事業（日立・下館共同、古河中央、古河東、しもだて紫水、結城、つくばサンライズ、地区国際奉仕）

2024-25年度 3事業（日立・下館共同、しもだて紫水、地区国際奉仕）



我がクラブ紹介

第6分区編

土浦ロータリークラブ

会長 平島 隆之
幹事 藤澤 昭彦

土浦ロータリークラブは、1958年2月14日に創立され、67年の歴史と伝統を誇るクラブです。オリジナルのクラブソングを持ち、例会では会員一同で歌うなど、独自の文化を大切にしています。親クラブである水戸ロータリークラブのスポンサーシップのもと、県南地域におけるロータリー活動の中核として発展してきました。現在は竜ヶ崎、水海道、土浦南、つくば学園、阿見、つくばサンライズという6つの子クラブを持ち、県南・県西地区へのロータリークラブ拡大に大きく貢献してきました。毎週木曜日に例会場「L'AUBE kasumigaura」で例会を開催し、地域社会への奉仕と国際理解の促進を使命として活動しています。特に米山記念奨学会への支援に長年注力してまいりました。

米山奨学事業への取り組み

1976年から約50年にわたり21ヵ国から50人以上の留学生を支援し、地区内累計寄付額第1位の実績を誇ります。初めて受け入れた台湾人留学生との縁から台北のクラブとの交流が始まり、現在は姉妹クラブとして深い絆で結ばれています。今年度は2名の米山奨学生の世話クラブを担当し、国際理解の輪を広げています。

地域への貢献

地区補助金を活用した社会奉仕活動にも積極的に取り組んでいます。土浦の歴史と文化を伝える「土浦八景」「垂松亭八景」の案内板を製作・設置し、郷土の魅力発信に貢献しました。また、霞ヶ浦総合公園のベンチ補修事業や、子どもたちの読書支援のための「本の通帳」事業、地域の親子が集う「体験型子ども食堂」など、多様な社会奉仕活動を展開しています。

私たち土浦ロータリークラブは、地域や国際社会のために「少し良いこと」をすることを大切にしながら、日々の活動を通じて社会に貢献してまいります。

土浦南ロータリークラブ

会長 杉田 一男
幹事 山口 裕由

土浦南ロータリークラブは、1964年の創立以来、地域社会に深く根ざしながら奉仕の精神を大切に歩み続けてまいりました。現在は87名の会員を擁し、44歳から92歳までの幅広い年齢層が集う活気と多様性に富んだクラブです。経験豊かな先輩会員と次世代を担う若い会員が互いに学び合う例会や、職業奉仕や社会奉仕に関わる事業を通じ交流ができる事は、当クラブの大きな強みです。

特に、青少年奉仕部門においては積極的な活動を展開しています。柴沼会員が地区インターアクト委員長を務め、8月にインターアクト年次大会も成功裡に終了、さらに、土浦南ロータリーアクトクラブの水村君も地区代表を務め来春の地区大会に向けて準備を進めています。

2025年度の米山記念奨学生は韓国からの留学生、筑波大学大学院生の丁世彬君、毎月日本語での近況報告を伺う事が楽しみです。

姉妹クラブ締結以来、大甲扶輪社（台湾台中市）との交流も50年、今年度も10月に訪台し親交を深めて参りました。

また、当クラブは2027-28年度に、清野宏之ガバナーの輩出クラブとなり、現在は、ガバナーノミニーとして日々研鑽を重ね、来たるガバナー年度に備えています。60年の歴史の中で培われた組織力と結束力を集結し、全会員で応援して参りたいと思います。地区内の皆様のご協力をお願いしまして、クラブ紹介とさせていただきます。

つくば学園ロータリークラブ

会長 高田 稔美
幹事 五十嵐 徹

私たち「つくば学園ロータリークラブ」は筑波山をはじめとした自然豊かなエリアと研究学園都市として発展を続ける中心部が共存するつくば市を拠点に1986年7月18日に創立され、本年度40周年の節目の年を迎えます。昨年度は「つくば学園ユースロータリーサテライトクラブ」を立ち上げ「つくば学園ローターアクトクラブ」と共に元気に活動をしております。会員数は本会員96名、サテライト会員9名、ローターアクト12名で年度をスタートしました。奉仕活動は地区補助金を活用させていただく「ロータリーの森創り事業」中学生と職業倫理を学ぶ「中学生と語る会」青少年育成事業である「ミニサッカー大会」ほか地域に根差した活動を行っております。国際奉仕活動もインドネシアでの学用品提供を今年度より予定しております。例会は毎週木曜日12時半より「ホテル日航つくば」にて開催しており、会員の親睦は月に一度の夜例会を中心に盛大に、また同好会活動も野球・ゴルフ・カラオケ・ワイン・ボウリングなど多岐にわたり会員の友情の輪を広げる一助となっております。今年度のクラブスローガンは「Be Together ～変わらないために変わる～」歴史を創った先人に感謝し、クラブの繁栄のために私たちも意識を変え行動を変えていきたいとの意味を込めました。さらに強く誇れるクラブを目指して地域の皆さんとの信頼関係と会員同士の繋がりを大事に活動を続けてまいります。

石岡 87 ロータリークラブ

会長 竹内 盛恭
幹事 大和田寛樹

私たち石岡87ロータリークラブは、現在24名の会員が在籍し、「先輩たちの優しさに包まれた、和気あいあい」とした雰囲気です。私たちは、「地域への奉仕」と「会員間の親睦」を活動の両輪として、何よりも大切にしています。

奉仕活動の大きな柱の一つである「愛の献血」では、石岡理容美容専門学校と連携し、学生の皆さんからも多大なご協力をいただいています。若い世代の善意が、貴重な「血液」を医療現場へ届ける、当クラブの特色ある取り組みとなっています。

もう一つの柱が、地域最大の行事で53万もの人々が訪れる「常陸國總社宮例大祭（石岡のおまつり）」に合わせて行う、「エンドポリオ募金」です。当日は、石岡RCや地元のガールスカウトの皆さんと力を合わせ、エンドポリオやロータリーの名前入りのうちわを配布しながら、ポリオ根絶へのご支援を呼びかけると同時に、ロータリーの公共イメージ向上にも努めています。

こうした奉仕活動の源泉は、私たちが大切にしている「親睦」です。会員同士の絆を深めるため、「夫人同伴例会」や「お月見例会」、忘年会など、季節を感じられる和やかな行事を数多く開催しています。1987年に石岡RCの30周年を機に誕生した当クラブも、本年、創立40周年という大きな節目を迎えます。先輩方が築いた友情の輪を大切に守りながら、これからも仲間と共に、地域に根差した奉仕と親睦活動に励んでまいります。



土浦中央ロータリークラブ

会長 国分 貢
幹事 二宮 靖幸

土浦中央ロータリークラブは土浦南ロータリークラブをスポンサークラブとし、1990年6月3日に第6分区で6番目、土浦市では3番目のクラブとして誕生しました。歴史ある城下町・土浦は、土浦城とともに長い歴史を歩んできました。水城として築かれた土浦城は、その形状から亀の甲羅を干す姿を連想させ、「亀城」と親しまれています。土浦中央ロータリークラブも亀のようにゆっくりでも着実に前進することを願い、バナーには亀のデザインを採用しています。

当クラブの主な活動としては1997年から2016年までの20年間にわたり、リトルシニア野球大会の開催を行ってきました。また、2015年にはフィリピン・マニラ地区を訪問し、現地の子供達に学用品を贈呈する等、地域住民と共に青少年の健全育成に貢献してまいりました。

しかしながら、その後、会員数の急激な減少や金銭面・マンパワー不足といった課題に直面しています。こうした状況の中でも、私たちは何ができるかを模索し、少人数だからこそできる小回りの利く活動を展開しています。

具体的には土浦市の玄関口である駅前市庁舎大屋根広場にプランターを設置し、季節の草花を育てる活動や、小町の里周辺の草刈りや清掃、レンゲの種まきといった美化活動を行っています。また、子育て家庭を支援するために、無償で弁当を配る「ロック応援弁当」への支援やお手伝いを行っています。

これからも皆様と共に、友情を育みながら温かく居心地の良いクラブを築いていくことを抱負とし、協力と笑顔あふれる活動を目指してまいります。

つくばシティーロータリークラブ

会長 鈴木 潤
幹事 大島 茂久

筑波研究学園都市は、最先端の科学研究で多くの研究機関や大学が集まり世界中から人々が集う国際的な街です。私たちつくばシティーロータリークラブはこの地をホームとして、この多様性に富んだ環境の中で地域社会と世界に貢献する活動を続けています。1993年に創立し、現会員数は56名で地域の特性を背景に多様な職種と多数の女性会員や海外をルーツに持つ会員など多様性を誇ります。奉仕事業としては「つくばシティーロータリークラブの日」と銘打ち前年度までは青少年奉仕で子供たちとのスポーツイベントを行い、本年度はつくばユナイテッド Sun GAIA をサポートする予定です。国際奉仕として発足した「ランドセルは海を越えて」プロジェクトはつくば市内の小中学生へ呼びかけアフガニスタンにランドセルを約200個送る事業ですが本年度も社会奉仕で行われる予定です。他の社会奉仕として茨城県献血事業の協力も継続しております。

米山奨学生も当クラブでは毎年受け入れており、前年度からは社会奉仕事業としてクラブ単独で独自の筑波大学院生の奨学金制度を始めました。そして当クラブの魅力は、会員同士が互いに尊重し合いながらも、気負うことなく語り合える温かな雰囲気にあります。立場や肩書にとらわれず率直な意見交換ができる関係こそ私たちのクラブの大きな財産です。



公式訪問

結城ロータリークラブ

9月3日



公式訪問

石岡ロータリークラブ

10月15日



公式訪問

石岡 87 ロータリークラブ

10月23日



公式訪問

日立港ロータリークラブ

10月30日



公式訪問

ひたちなかロータリークラブ

11月4日



公式訪問

つくばシティーロータリークラブ

11月12日





ガバナー時代 回顧録

ガバナーの時代そして今思うこと

国際ロータリー 2820 地区

2018-2019 年度ガバナー

高橋 賢吾 (水戸西RC)

2018-19 年と言えば、平成天皇が憲政史上初の生前退位をなされ、新たに皇太子殿下が第 126 代天皇に即位された年です。それにより元号が平成から令和に改元され、その時の即位の言葉は、「新しい時代に向けて日本が世界平和のために協力しましょう」と呼びかけたのが印象に残っています。ちなみに私たち同期のガバナー会の名称は「令和会」となっています。

さて、私がガバナーになった経緯をお話します。

当時、第 2 ブロック (第 3 分区) からガバナーを選出する順番が回ってきて、何が何でも水戸西ロータリークラブから推薦しなければならないと言われました。当クラブからは山縣健三ガバナーを排出して以来、25 年間排出していないので私に白羽の矢が向けられました。その時はまだクラブ会長を経験していませんでしたので、急遽会長に抜擢され、次の年にガバナーノミニーとなりました。

ガバナーを受諾した理由は、60 歳の時に肝臓がんを患い、摘出手術を受けました。その後再発もなく現在に至りますが、死ぬと思っていたのに生き残った人生なので、綺麗事かもしれませんが、「残された人生で今までと違った経験をしたい」という意欲が湧いていたからです。

私のガバナー時代に力を入れたのは、クラブの戦略計画です。当時は、RI が戦略計画の必要性を打ち出したところで、どのクラブも関心がなく、戦略計画を策定しているクラブはほとんどありませんでした。まずはクラブを分析して 3 年後のクラブを思い浮かべ、目標を設定するということに努めました。現在は 3-Year-Targets により 3 年間の目標設定をしています。これも 2820 地区内の多くのクラブが戦略計画を策定し、実行しているからこそスムーズな導入が来ているものと思います。また、戦略計画や 3-Year-Targets は、会長と幹事が作るのではなく、多くの会員の意見を取り入れて策定し共有することが必要で、毎年 PDCA を廻すことがポイントとなります。ぜひ、将来のクラブの姿を描き実現してください。

さて、私は地区の審議会代表議員に任命されていますが、最近の規約改正は目を疑うような変革を起こしています。出席率の報告免除、例会回数の制限緩和、メイクアップの期限延長、クラブや会員の多様性など、今までのロータリー 100 年の歴史はどうなるのかと思うロータリアンは少なくありません。ポールハリスは「私たちは世界とともに変化する心構えがなければなりません。ロータリーの物語は何度も何度も書き替えられなければならないでしょう」と言っています。ポールハリスは現在の急激な変化や書き替えを想像したのでしょうか。これからもさらにロータリーに変革が起こりますが、変革は進歩と捉え、どんなに変わろうともロータリーの基本は会員とクラブであること、私たちロータリアンがクラブの自主性と独創性を作り上げることが大切だと思います。



ガバナー時代 回顧録

国際ロータリー 2820 地区
2019-2020 年度ガバナー

中村 澄夫(東海那珂RC)

ロータリーの瀬戸年度も早や半期を経て、各クラブへの公式訪問と重き行事の地区大会も終えている。後期に開かれる大きな行事は地区内 8 分区にて開催される IM が主であろうか。ロータリーの年度は 7 月からであるが、新年度に向けての実際はガバナーエレクト時の 1 月に新たな年度に向けた行事が色濃く開始されて展開している。

次期ガバナーとしては、先ず意義高い学びの機会であるアメリカの名のある都市で開かれる国際協議会への参加である。振り返ると自分の場合は、2019 年の 1 月にカリフォルニア州のサンディエゴにて 1 週間開催された研修であった。世界の 540 地区、そして日本からは 34 地区のガバナーエレクトとパートナーが参加してロータリーの多くを学び、そして交流を深めて次年度のガバナーとしての大きな荷と責任を身にしたのであった。協議会より帰国してからの地区における 3、4 月は、新年度の指導者となる多くの方たちとの 3 大協議会であった。100 年を重ねたロータリーの実績、そして年ごとに加えられる新たな方針などを協議したのである。

新年度に向けた数々の研修を終え、そして緊張して迎えた 7 月 1 日より当地区のガバナーとして、多くの方たちに支えられながらロータリー活動を重ね過したのであった。各クラブが実施した奉仕活動は、クラブの会員方や五大奉仕委員会と他の委員会の担当者たちのご尽力と協力によって、この年度の前半を有意義に終えることが出来たのであった。そしての後半期の実績に向かった 1 月、世界の人々が全く予想だにできなかった実に恐ろしい病である「コロナ」が、この世界に急激に襲い来たのであった。それぞれの地にて人との交流、交通、飲食、実に数多くの面での影響が忍び来たのである。この生活異変により、ロータリーのこの地 RI2820 地区での「地区大会」は、未開催であった国内の 4 地区と同様に開催不可となり中止にて終えたのである。ロータリーの各年度において重要な行事である「地区大会」が開催出来なかったことは大きな“残念感”に思われたひと時であった。地区のロータリアンの方々に詫びたことが、この年の心に大きく残る重き出来事だったのである。そしてこの被害は幾年にも及び、ロータリーにとって重要な奉仕活動も抑圧され出した年なのであった。

こうしたロータリーにとっての大きな負の傷となった 2020 年であったが、その後会員方々の懸命な努めによって意義ある実績が積まれる年が続く今日である。

創立 40 周年記念式典開催報告

水戸東ロータリークラブ 会長 磯野 敦義

水戸東ロータリークラブは、1985年10月23日に水戸ロータリークラブをスポンサークラブとして31名の会員により仮発会式が行われ、1985年11月14日に国際ロータリー加盟認証を頂き水戸市内4番目のロータリークラブとして誕生しました。当クラブはこれまで、本年度で第36回目を迎える茨城大学留学生との心の交流会、第17回目を迎える水戸市中学生春季ソフトテニス大会、交通安全教室、タイ国への人道的国際奉仕活動、子供達の明るい未来を目指す青少年支援活動、動物愛護啓発事業、更には様々な災害支援活動など、地域社会に根ざした奉仕活動を重ねてまいりました。そして本年、会員数63名となり、40周年という大きな節目を迎えることが出来ました。

11月9日(日)、水戸東ロータリークラブ創立40周年記念式典・祝賀会を挙げるにあたり、国際ロータリー理事エレクト 中谷 研一様、国際ロータリー第2820地区ガバナー 瀬戸 隆海様をはじめ地区役員の皆様、茨城県知事 大井川 和彦様(代理出席 菊池 康弘知事公室長)、水戸市長 高橋 靖様、そして県外からも、和歌山北 RC、東京福生 RC の皆様、分区内の会長・幹事の皆様に加え、茨城ロータリーEクラブの方にも初の出席を頂きました。

記念式典では、各種団体への目録贈呈、感謝状、記念品贈呈及び会員表彰等に加え、日本赤十字社茨城県支部乳児院への奉仕活動が切っ掛けとなり、当クラブと東京福生ロータリークラブとの友好クラブ調印式を執り行いました。

また、2026-28年度 国際ロータリー理事の中谷 研一様より、「国際ロータリーの方向性と審議会」という演題で記念講演を頂き、RI 関連情報に聞き入ってしまいました。その後、祝賀会が盛会に行われました。

私達は、これからも奉仕の原点に立ち戻りながら、国際ロータリーの「世界平和」及び「奉仕の理想」を求めつつ、地域貢献と次世代育成に焦点を当て、活動を実践して行くことを確認した記念式典でした。

最後に、ご出席下さいましたご来賓の皆様にご改めて感謝申し上げます。有難うございました。



国際ロータリー第 2820 地区
2025-26 年度

会員増強報告

2025 年 10 月末時点

区分	クラブ名	会員増強報告 (単位／人)								2025 年 10 月末日	うち 女性会員
		本年末 会員目標	期首 会員数	10 月実績		本年度累計					
				入 会	退 会	入 会	退 会	純 増			
第 1 分区	日立	69	64	1	2	1	2	-1	63	3	
	日立南	36	34	0	0	0	0	0	34	3	
	高萩	35	31	0	0	0	3	-3	28	1	
	北茨城	29	25	0	0	1	0	1	26	3	
	日立港	34	32	0	0	1	0	1	33	2	
	日立北	38	35	0	0	0	0	0	35	4	
	日立中央	22	20	0	1	0	1	-1	19	3	
	合 計	263	241	1	3	3	6	-3	238	19	
第 2 分区	那珂湊	17	16	0	0	0	0	0	16	1	
	常陸太田	40	37	0	0	0	0	0	37	6	
	大子	26	24	0	0	0	0	0	24	2	
	大洗	15	13	0	0	0	1	-1	12	0	
	勝田	26	24	0	0	2	1	1	25	2	
	東海那珂	35	32	0	0	3	0	3	35	0	
	ひたちなか	25	23	0	0	0	0	0	23	2	
	合 計	184	169	0	0	5	2	3	172	13	
第 3 分区	水戸	133	123	1	0	3	1	2	125	4	
	笠間	22	19	0	0	0	0	0	19	0	
	水戸西	75	69	0	0	1	0	1	70	12	
	水戸南	85	75	0	0	2	0	2	77	11	
	友部	21	20	0	0	0	0	0	20	0	
	水戸東	68	63	0	0	0	0	0	63	4	
	水戸さくら	20	17	0	0	0	0	0	17	3	
	水戸好文	19	17	0	0	0	0	0	17	15	
	茨城 RE	12	10	0	0	0	0	0	10	4	
	合 計	455	413	1	0	6	1	5	418	53	
第 4 分区	古河	54	50	1	0	1	0	1	51	5	
	境	42	39	0	0	0	3	-3	36	0	
	岩井	12	9	0	0	1	0	1	10	2	
	古河東	49	45	0	1	1	1	0	45	13	
	古河中央	52	47	1	0	3	0	3	50	6	
	合 計	209	190	2	1	6	4	2	192	26	
第 5 分区	下館	25	23	0	0	0	0	0	23	3	
	結城	25	23	0	0	1	0	1	24	0	
	真壁	14	11	0	0	0	0	0	11	0	
	下妻	69	64	0	0	4	0	4	68	7	
	しもだて紫水	52	49	0	0	2	0	2	51	4	
	筑西きぬ	16	14	0	0	0	0	0	14	3	
	合 計	201	184	0	0	7	0	7	191	17	
第 6 分区	石岡	18	16	0	0	0	0	0	16	0	
	土浦	53	46	0	0	1	3	-2	44	8	
	土浦南	93	86	0	0	1	0	1	87	5	
	つくば学園	110	105	4	0	9	1	8	113	8	
	石岡 87	28	25	1	1	1	2	-1	24	0	
	土浦中央	13	11	0	0	1	1	0	11	0	
	つくばシティ	59	54	0	0	2	2	0	54	8	
	阿見	24	23	0	0	3	0	3	26	1	
	つくばサンライズ	19	17	0	0	3	0	3	20	7	
	合 計	417	383	5	1	21	9	12	395	37	
第 7 分区	竜ヶ崎	38	35	0	0	0	0	0	35	5	
	水海道	31	48	0	0	1	2	-1	47	2	
	取手	16	14	0	0	0	0	0	14	1	
	牛久	41	38	0	0	0	1	-1	37	3	
	守谷	5	3	0	0	0	0	0	3	0	
	龍ヶ崎中央	17	12	0	0	2	1	1	13	2	
	合 計	148	150	0	0	3	4	-1	149	13	
第 8 分区	鉾田	29	27	0	0	0	0	0	27	0	
	鹿島臨海	45	40	0	0	0	0	0	40	5	
	玉造	12	9	0	0	0	0	0	7	1	
	波崎	18	15	0	0	0	0	0	15	1	
	鹿島中央	21	19	0	0	2	0	2	21	2	
	合 計	125	110	0	0	2	0	2	110	9	
地 区 合 計		2002	1840	9	5	53	26	27	1865	187	

※期首とは 7 月 1 日の午前 0 時時点、末日とは当日午後 1 2 時時点とする。

✳️新入会員紹介✳️

Enjoy Rotary

(敬称略)



古河 RC
岡野 浩通

■入会日
2025年10月3日

■職業分類
乳類販売



日立 RC
青野 貴宣

■入会日
2025年10月7日

■職業分類
証券業



つくば学園ユース RSC
伊藤 文弥

■入会日
2025年10月9日

■職業分類
福祉事業



つくば学園ユース RSC
岡田 ひろみ

■入会日
2025年10月9日

■職業分類
カウンセラー



つくば学園ユース RSC
梶 秀太郎

■入会日
2025年10月9日

■職業分類
ハウスメーカー



つくば学園ユース RSC
椎名 敬子

■入会日
2025年10月9日

■職業分類
カウンセラー



北茨城 RC
嶋本 晋

■入会日
2025年11月1日

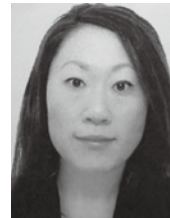
■職業分類
金属加工



筑西きぬ RC
埴 江里奈

■入会日
2025年11月1日

■職業分類
不動産



つくばシティ RC
中山 由美

■入会日
2025年11月12日

■職業分類
サッカースポーツ
クラブ

1月ガバナー公式訪問・研究会日程表

1	木	元旦	12	月	成人の日	23	木	
2	金		13	火		24	金	
3	土		14	水		25	土	第 1 分区IM
4	日		15	木		26	日	
5	月		16	金		27	月	
6	火		17	土		28	火	
7	水		18	日		29	水	
8	木		19	月		30	木	
9	金		20	火		31	金	第 6 分区IM
10	土		21	水				
11	日		22	木				



1月号編集後記

新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

皆さまのご協力により、昨年7月号からガバナー月信を送付させていただいておりますが、その間、試行錯誤の毎日で皆さまにはご迷惑をお掛けしていることと思います。

寛容と友情のお心で、ご購入いただければ幸いに存じます。

また、原稿ご依頼に際しましては、快くご協力をいただき御礼を申し上げます。引き続き後期に入り地区の情報発信に努めてまいります。物価高の現状にて編集、表現方法につきまして深いご理解を賜りますようお願いいたします。

月信委員会 委員長 秋田 政夫



会場：つくばノバホール



～月信委員会より重要なお知らせ～

日頃より月信をご愛読いただき誠にありがとうございます

今後の誌面掲載記事につきまして、誌面の簡素化・経費削減のため、

次号2月号より**2次元コードを用いた掲載方式へと変更**させていただくことになりました。

何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

※一部記事タイトルのみの掲載で2次元コードから閲覧していただく形式になります